

表 シカゴ連銀経済報告(2022年4月20日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は好調に(strong pace)推移 賃金は急速に(rapidly)増加	雇用は好調に推移し、今後12カ月間は緩やかな成長が見込まれる。各業界の担当者からは、あらゆるレベルの労働者を見つけるのは難しいという報告があった。離職率の高さは一部の企業にとって引き続き問題となっている。人手不足により、多くの企業が旺盛な需要に見合うだけの生産ができない状況が続いている。全体として、賃金と福利厚生のコストは、新しい労働者を引きつけるためと既存の人材を維持するために、急速に増加したが、一部の企業では、賃金の引き上げにもかかわらず、応募者が少ないため、募集職種を満たすことができないとの報告があった。一方で労働力人口の増加により、採用力が向上しているとの指摘もある。
物価	全体的に力強く(strongly)上昇	全体として、物価は2月下旬から3月にかけて力強く上昇し、関係者は今後12カ月間、物価の上昇が力強いペースで続くと予想している。生産者物価は、労働、輸送、エネルギー、材料(特に金属)のコスト上昇の転嫁により、大きく上昇した。消費者物価は、堅調な需要、限られた在庫、およびコスト上昇の転嫁により、堅調に推移した。顧客からの値上げへの反発は限定的であるとの声が引き続き聞かれた。
個人消費	控えめに(modestly)増加	個人消費はバランスよく控えめに増加。一部の小売業者は、新型コロナウイルスに対する懸念が薄れたことにより、足元が改善したと報告した。非自動車小売売上高はわずかに増加。家具、家電製品、電子機器への支出は小幅に増加したが、食料品の売り上げは横ばいであった。また、ディスカウントストアでの販売も増加した。軽自動車の販売台数は緩やかに減少し、引き続き低水準の在庫に制約されているが、車両価格の上昇により利益率は堅調に推移している。レジャー・サービス支出は、観光客の増加により増加した。
企業支出	控えめに(modestly)増加	企業支出は控えめに増加した。小売業の在庫は、サプライチェーンの課題により、多くのセクターで低水準が続いている。主要な品目については、小売業者は在庫を確保するために、早めの注文や航空便の利用など、特別な手段を講じている。多くの製造業の在庫は望ましい水準に達していない。製造業関係者は、引き続き幅広い投入資材の不足を訴えており、また中国での新型コロナウイルスの感染者増加がさらなるサプライチェーンの問題を引き起こす可能性に懸念を示した。輸送サービスは引き続きフル稼働した。設備投資の伸びは緩やかで、設備の更新や知的財産への支出が増加した。産業用エネルギー消費量にはほとんど変化がなかったが、商業用エネルギー消費量はオフィスの増加に牽引され、わずかに増加した。
建設と不動産	控えめに(modestly)増加	建設・不動産は控えめに増加した。住宅用、非住宅用建築物の関係者は、人件費や資材費の上昇、金利の上昇が需要を圧迫していると指摘している。住宅建設は、地域やセグメントによって異なるものの、純増となった。建築業関係者は、一戸建て住宅建設は横ばいであり、多くの建築業者がサプライチェーンのボトルネックに対処するため、契約販売を制限していると報告した。窓、ドア、骨組み、空調設備、家電製品、キャビネットなどの主要製品の納品に遅れが見られた。非住宅建設分野では、プロジェクト・コストが上昇し、鉄鋼の入荷が遅れたとの報告があったが、産業用不動産、テナント店舗、医療用オフィスの分野では旺盛な需要により建設が増加した。商業用不動産の動きは堅調で、取引量、価格、賃料にほとんど動きはなかった。サブリースの空室率は小幅に上昇した。
製造業	控えめに(modestly)増加	製造業の生産は、多くの製品への旺盛な需要にもかかわらず、労働者や資材の確保が困難なことから、生産が制限され、緩やかな増加にとどまった。自動車生産台数は、マイクロチップなどの資材不足により、全面的に減少した。大型トラックは、需要が緩やかに増加したが、生産はわずかな増加にとどまり、在庫が減少して価格が上昇した。鉄鋼は、エネルギー関連からの受注増もあり、需要は増加したが、生産は横ばいとなった。鉄鋼価格は、特にステンレス鋼で高水準が続いた。オフィス家具メーカーは、オフィススペースの新設、改修、模様替えの需要が売り上げを支えていると述べた。
金融	やや厳しく(tightened)	金融環境は全体としてやや厳しくなった。株式・債券市場では金利上昇、ボラティリティの上昇、資産価値の純減が報告された。企業向けローン需要は小幅に増加し、その伸びは各業種に広がった。関係者は、在庫資金調達のためのクレジットラインの利用拡大や、買収資金調達の伸びがあったと報告した。企業向けローンの質は全体的に横ばいであったが、基準はわずかに厳しくなった。消費者市場では、住宅ローンに対する需要が減少した。消費者ローンの質は全体として横ばいだったが、基準はわずかに厳しくなった。
農業	価格上昇と大幅な価格変動	農産物市場は、ロシアのウクライナ侵攻に関連して、価格上昇と大幅な価格変動に見舞われた。トウモロコシ、大豆、小麦の価格は上昇し、投入資材価格、特に肥料とディーゼル燃料の価格も上昇した。投入コストの高騰により、作付け計画がトウモロコシから、より安価な投入資材を必要とする大豆に変更される動きがみられた。さらに、投入資材の納品が作付けに間に合うかどうかという懸念も深まった。牛、豚、卵、牛乳の平均価格は、すべて前報告期間から上昇した。農地価格は、投資家の関心が高まっていることもあり、引き続き堅調に推移した。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成